



わくわく倶楽部

江口グループ

第209号

令和6年12月発行

能登の復興に寄り添う 江口組の挑戦と土木の使命

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



2024年の幕開けとともに、私たちは能登半島地震という未曾有の災害に見舞われ、さらに9月には豪雨が能登を襲い、復旧の歩みを後戻りさせ、大きな試練にさらされました。この一年は能登での道路啓開作業や復旧作業を通じて、土木という仕事の意義や使命を再確認し、地域のために尽力する大切さを強く感じさせる年となりました。

新 年早々の1月1日、石川県能登半島で大規模な地震が発生しました。この地震は、建物や道路、ライフラインに甚大な被害をもたらし、多くの人々が日常生活を失うことになりました。石川県建設業協会の会員企業として、私たち江口組も能登の地へと出向き、道路啓開作業を開始しました。復旧作業は想像を超える過酷な状況の中で行われました。電気や水道、ガス、燃料、そして食料といった基本的なインフラが整わない環境での作業でした。そして寝泊まりも車中泊。過酷な環境の中でしたが、社員たちは「能登の人々を思うと贅沢は言ってもらえない」と口を揃え、能登のためにという想いを強くし、精一杯に支援活動に従事しました。地震による啓開作業は4月末まで続き、江口組として述べ30日、100人を超える人間が能登での作業にあたりました。

復旧作業が進む中で、現地の状況を目にした社員たちからは、「言葉にならないほどの悲しさや無力感を覚えた」という声がありました。私も、社長として現場の状況を知るにつれ、ただ無力感を抱くばかりでした。しかし、そんな中で「能登のために何かしなければならぬ」という使命感が芽生え、社員たちは一層強い意志で作業に取り組むようになりました。その社員たちの姿を見て、私は心の底から誇らしく感じ、同時に社員一人ひとりが持つ責任感と使命感が、江口組の大きな財産であることを改めて実感しました。

新 方で、9月には豪雨が再び能登を襲い、復旧に向けた道のりにさらなる困難が生じました。豪雨によって、地震で損傷していた箇所が再度被害を受け、土

砂災害や河川の氾濫などによって能登の皆さんの生活は一層厳しいものとなりました。豪雨災害を受け、石川県建設業協会の会員企業が再度能登へと向かいました。江口組もその一員として輪島での作業にとりかかっています。

しかし、こうした災害が続く中でも、地域の方々や社員たちは一歩一歩前進し、少しでも早い復旧を目指して懸命に取り組みました。復興への道はまだ遠く、能登の皆さんが描く「普通の日常」に戻るには時間がかかるかもしれませんが、それでも、土木の力が「小さな光」を大きくし、希望となって、地域に少しずつ灯りをともしていると感じています。

復旧作業の中で、私たちはただ被害を修復するだけでなく、「災害に強いまちづくり」という視点も欠かせないと実感しました。復興を支える土木の力が、いかに未来の安全を担うものかを強く感じると同時に、私たち土木業界が果たすべき使命は年々大きくなっていると痛感します。災害を受けた街が再び輝きを取り戻すためには、日常から防災意識を高め、災害に強い街を築くことが不可欠です。江口組としても、その使命に応えるための一助となるべく、さらなる技術の向上と意識改革に努めていきます。

新 の一年の経験は、土木の力が持つ重要性を再確認する機会でもありました。私たちが心に抱く「小さな光」は、土木という職業を通じて大きな希望の灯りへと成長させることができるでしょう。能登の人々が再び安心して暮らせる日常を取り戻し、未来に向けて一歩一歩進んでいく姿を支え続けるために、石川県民である私たちにとっても、心を込めた応援を決して忘れずに取り組んでいきたいと思えます。

2024年の出来事を通じて、私たちは「土木の使命」を深く胸に刻みました。そして、復旧と防災に関わるあらゆる挑戦に対して、江口組としてこれからも力を尽くし、能登のために、そしてふるさと石川のために希望の光を大きく輝かせていく決意を新たにしています。

江口グループ現場だより

内定式は、若手社員の成長を感じることができました!

皆 さんこんにちは。広報部の庄源です。
10月14日月曜日、「江口グループ令和7年度新入社員内定式」が行われました。

今年は3名の高校生に内定証を渡すことができ、採用担当としてとても嬉しく思います。

内 定式では、内定証を受け取る際、内定者3名の緊張しながらも真剣な表情がとても印象的でした。

その後、社長からの温かい激励の言葉に続き、先輩社員からの歓迎のスピーチがありました。その役を自ら立候補してくれたクリエイション江口の刀祢くん。始まる前はかなり緊張している様子で少し心配でしたが、「失敗を恐れず、笑顔と感謝を忘れずに新しいことにチャレンジして欲しいです!」という頼もしいスピーチで、先輩社員らしい姿に感動しました。

また、内定式後には今年4月に入社したばかりの若手社員たちが企画・運営した座談会を開催し、先輩社員たちが内定者の学生に対して、積極的に話を進めてくれました。

内定者が不安に思っていることや、仕事に関する疑問などに対して丁寧に、そして具体的な経験談やアドバイスを交えるなど、親身になって答える姿が頼もしかったです。

今 回の内定式は、若手社員が成長している姿も見ることができ、とても充実した式でした。これから新たに仲間として加わる3名が、成長し活躍してくれることを期待すると共に、先輩社員もまた後輩たちに刺激を受け、一緒に成長していくこと、そして、先輩社員のような地域の皆様に応援される社員になることを願っています。

4月から新たな仲間が加わる江口グループをこれからもよろしくお祈りします!



高校生の皆さんにフィールドスタディを通して土木について考えてもらいました!

皆 さんこんにちは。広報部のきゅうだです。
小松大谷高校では、小松市の企業を訪問しその企業の業務内容や社会活動への取り組みなどを学ぶ「フィールドスタディ」を行っています。先日、江口組にも8名の小松大谷高校生が来てくれました!

江口組のことや土木の魅力・大切さを知ってもらうことを目的に行いました。まず、学校では学ばない土木の仕事について知ってもらうために、土木の役割についてお話ししました。

その後は、『もし土木がなくなったら?』、『なくさないためにはどうすればいい?』を考えてもらいました。「身近な仕事をアピールする」、「職場・作業の様子をSNSで発信する」など、高校生からいろいろな考えを聞くことができ、今後、広報部の目的である『土木の魅力を発信する』に繋がっていきたいと思いました^^

そして、最後にはみんなで1枚の紙に江口組についてまとめてもらいました。『江口組とはどんな会社か』『会社の設備』など細かく書いてくれたおかげで素敵なものが完成しました!

今 回のフィールドスタディを通して、会社や土木について興味を持ってもらえたら嬉しいです!
小松大谷高校の皆さん、ありがとうございました!



このニュースレターの他に、江口組公式 SNS でも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/

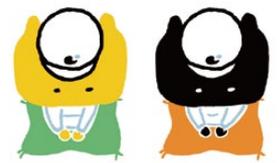


(株)江口組公式 X (旧Twitter)

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^_^)/



スマイル花壇のお花を植替えました!
来年の春には笑顔いっぱいの花壇になっていますように…♪

皆さんこんにちは。広報部の川崎です。
10月に江口グループの若手社員で、スマイル花壇のお花の植替えを行いました!

木場潟の南園地にあるスマイル花壇は、江口グループで造ったオリジナルの花壇です。「木場潟を訪れる皆さんが笑顔になって欲しい」という想いから、笑った顔にデザインされています。

その日は、曇り空でありあまり天気が良くなかったですが、地元の小生たちがマラソン大会をしていて、とても賑やかでした。小生が元気よく挨拶してくれたり、花壇に興味をもってくれたりしたので嬉しかったです♪

この花植えは「ESTP」という若手社員だけのプロジェクトのメンバーで行いました。現場に出ている工事部の社員もいて忙しい時期でもありましたが、みんなで協力して花壇をきれいに植替えることができました!

今回の花植えで今年最後となりました。これから寒い冬を乗り越え春にはきっときれいな花を咲かせると思います^^

来年の春、笑顔いっぱいのスマイル花壇をぜひ見に行ってみて下さい!!



ニュースレターがつつなくご縁



こんにちは、クリエイション江口の高橋はるかです。
今回は、ニュースレターがきっかけでお客様からお問い合わせをいただいた、嬉しいエピソードをご紹介します。
会社にお問い合わせが入り、その内容を確認するためお客様に折り返しご連絡をし、すぐお宅へ伺いました。伺う前にお客様の情報を確認すると、何年も前に一度工事をさせていただいたお客様であることがわかり、「どうしてまたご連絡くださったのかな?」とわくわくしながら伺いました。

お話を伺うと、毎月お送りしている江口グループのニュースレターで私の棟上げや火災報知器についての記事を目にし、「お家のことを相談できるかも?」と思ってご連絡くださったとのこと。このお言葉をいただき本当に嬉しかったです!

今回のお困りごとは、玄関ドアの下の隙間からムカデが入ってくることでした。お客様のご希望に合わせた解決方法を見つけるため、生活スタイルやご要望をじっくりお聞きしながら、最適なお提案をさせていただきました。

現在も工事が進行中ですが、完成しお客様に喜んでいただけるよう、精一杯進めています。

ニュースレターを通じてお客様とのご縁が続いていることに心から感謝しています。これからもお困りごとがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

お家のことならどんな小さなことでもしっかりとサポートさせていただきます。

お電話でしたらお困りの内容をお願い致します。

電話 0761-24-0018

もしくはQRコードをスマホで読み取り必要事項を入力しご連絡ください。



↑
お問合せフォームはコチラ

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



スタッフ通信



12月に入り、北陸の冬らしい気候になってきましたね。
今月はみんなに冬に食べたい温かい料理を聞いてみました。
寒い日は温かいものを食べてお家でゆっくりしたいですね。



工事部
山根 勝敏



工事部
池田 雅弘



白菜 えのき、マロニー、つみれ。
豚肉 などをいれ
「い野菜みそで煮こんだ」
鍋料理が最高です

広報部
久田 莉奈



みぞれ鍋
ス根おろしとブタ肉たっぷり。

工事部
小山 南海子



おでん

工事部
南 遥斗



・おでん
・雑煮



ご意見・ご感想などがございましたら
SNS または 同封してあります
アンケートハガキにてご連絡下さい!!



発行元

EGUCHI

江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)
eguchigumi@eguchi-group.co.jp